

## 臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

### <研究課題名>

当施設における悪性リンパ腫・HBV 再活性化ハイリスク症例の後方視的検討

### <研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 消化器・肝臓内科 (研究責任者) 神田達郎

### <研究期間>

承認日 ~ 西暦 2026年3月31日

### <研究の目的と意義>

悪性リンパ腫に対する化学療法および分子標的薬は免疫を抑制する働きがあり、B 型肝炎ウイルス(HBV)再活性化のリスクとなります。特に造血細胞移植やステロイドを使用した化学療法、リツキシマブ投与による HBV 再活性化の重症化が報告されており、悪性リンパ腫の治療開始前には必ず現時点で HBV に感染しているか、過去に感染していた既往があるかについて血清学的に検査を行っています。

当院血液内科において悪性リンパ腫と診断された症例についての旧紙カルテ・電子カルテの記載と各種検査結果を検索し、HBV 再活性化症例の発生率と加療内容、転帰、臨床的背景因子を検討します。今後の悪性リンパ腫治療に役立てられるよう、HBV 再活性化を助長しうる要因の有無を追求します。

### <対象となる患者さん>

※当院の血液内科にて西暦 2001 年 8 月 1 日～西暦 2020 年 12 月 31 日の期間に悪性リンパ腫と診断された方

### <研究の方法>

当院血液内科において悪性リンパ腫と診断された方について旧紙カルテ・電子カルテの記載内容と各種血液生化学検査結果を後ろ向きに検索し、HBV 再活性化の有無と再活性化の発生率、加療内容、転帰、臨床的背景因子を検討します

### <お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

消化器・肝臓内科 氏名:神田達郎

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2424